

## GLHSとは

■事業目的：豊かな感性と幅広い教養を身に付け社会に貢献する志を持つ、知識を基盤とする  
これからのグローバル社会をリードする人材を育成する（平成22年3月教育委員会会議）

- 育成されるべき力
- ① 幅広い教養と高い専門性
  - ② 高い志（社会貢献）と豊かな人間性
  - ③ 英語運用能力

## ■評価項目

		大項目	小項目
各 学 校 独 自 の 取 組	I	確かな学力の向上を図る	<ul style="list-style-type: none"> <li>・言語活用力</li> <li>・ICT活用力</li> <li>・読解力リテラシー、科学的リテラシー</li> <li>・英語運用能力</li> <li>・その他（基礎学力の充実・学習習慣・自学自習の確立 ほか）</li> </ul>
	II	豊かな感性と、たくましく生きるための健康と体力をはくくむ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・違いを認め共に生きる力</li> <li>・共感性、協調性</li> <li>・健康、体力</li> <li>・その他（人権尊重の涵養、自尊感情の育成 ほか）</li> </ul>
	III	高い志をはくくみ、進路実現をめざす	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進路実現</li> <li>・規範意識</li> <li>・高い志（こころざし）</li> <li>・その他（高大連携の推進 ほか）</li> </ul>
	IV	教員の指導力向上をめざす	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業力向上</li> <li>・教材開発</li> <li>・その他（教員研修の充実、他府県の先進事例の研究 ほか）</li> </ul>
共 通 の 取 組	V VI VII VIII	総合的な学力の測定 課題研究活動 英語運用能力 進学実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>★10校が共通で実施する学力調査・センター試験受験者数</li> <li>★読解力・科学的リテラシー～コンクール等の実績～</li> <li>★英語運用能力～TOEFL/IBTスコア等～</li> <li>★進学実績 ～SGU大学・国公立大学進学者数等～</li> </ul>

## ■ 評価

○各校独自の取組の評価

- ・大項目ごとに2～3の取組を計画。小項目は教育委員会が示す項目を参考に設定
- ・取組指標、取組指標の目標値、成果指標、成果指標の目標値を予め設定
- 取組実績（パフォーマンス）に基づき、各学校が自己評価（A・B・C 3段階評価）
- 評価審議会が大項目ごとに実績を評価（AA・A・B・C 4段階評価）

○共通の取組の評価（実績評価）

- ・教育委員会が示した小項目に基づき、各校が成果指標を設定
- 実績に基づき、各学校が自己評価（A・B・C 3段階評価）
- 評価審議会が大項目ごとに実績を評価（AAA・AA・A・B・C 5段階評価）

○毎年の総合評価

- 各校独自の取組の評価（大項目ごとの4段階評価）  
+  
共通の取組の評価（大項目ごとの5段階評価）  
→ 総合評価（AAA・AA・A・B・C 5段階評価）

## 評価審議会

### ●評価審議委員

- |         |                     |
|---------|---------------------|
| 北野 正雄 氏 | 京都大学 理事・副学長         |
| 菊地 栄治 氏 | 早稲田大学 教育・総合科学学術院教授  |
| 浅野 良一 氏 | 兵庫教育大学大学院 学校教育研究科教授 |
| 三輪 昭 氏  | 外務省 関西担当大使          |
| 河内 幸枝 氏 | マロニー株式会社 代表取締役社長    |

### ☆毎年の評価

- 評価審議会の開催
- 委員による学校視察
- 委員による校長ヒアリング
- ・各校独自の取組及び共通の取組を評価 ⇒ 評価結果公表

### 【参考】 3年に一度 総合評価

3年間の各校独自の取組の評価を総合評価  
(AAA・AA・A・B・C 5段階評価)

+

3年間の共通の取組の評価（実績評価）を総合評価  
(AAA・AA・A・B・C 5段階評価)

## 参考

指定のスケジュール  
(平成23年～平成32年)

